

令和3年度

四大学連合複合領域コース
～履修案内～



東京工業大学

四大学連合複合領域コースとは

平成13年3月、東京医科歯科大学、一橋大学、東京外国語大学、東京工業大学は、四大学連合憲章を締結し、その憲章に基づき複合領域コースが設置されました。

このコースの受講者は、本学で専門的な知識と技術を身につけながら四大学連合の協定大学で新たな専門分野を学ぶことができ、コースが定める履修科目の所要単位を修得し合格した場合に、コース修了が認定されます。

このコースに出願できる資格は、本学に平成13年4月以降に入学した学士課程学生で、系等に所属する学生です。

受講の可否は、本学の複合領域コース主査と学生が所属する系主任等による選考を経て決定されます。

出願手続期間、受講の可否および他大学に関する情報等はホームページや掲示板等で周知しますので注意してください。(出願時期は概ね10月上旬から11月中旬を原則として年度毎に周知します。)

Confederation of the Four Universities (the Special Composite Domain Course)

In March 2001, Tokyo Medical and Dental University, Hitotsubashi University, Tokyo University of Foreign Studies, and Tokyo Institute of Technology concluded an agreement launching the Confederation of the Four Universities, based on which the Multidisciplinary Program was established.

This program enables our students to pursue additional expertise at a partner university while acquiring the professional knowledge and skills of their own majors at Tokyo Tech. A certificate of completion will be awarded to students who have acquired relevant course* credits required by the program.

In order to participate in the program, applicants must pass a selection process. Eligible applicants are undergraduate students who are affiliated with a department and enrolled at Tokyo Tech in or after April 2001. Successful candidates will be determined by a program supervisor at Tokyo Tech and chairs of departments to which applicants belong.

Important information regarding application instructions, selection results, programs available at partner universities, etc. will be announced on our website and bulletin board. The application period generally begins early October and ends mid-November every year.

* Courses designated by the program will be provided in Japanese (with some exceptions).

目 次

① 複合領域コースの履修案内	P. 3
1 出願資格等	
2 出願手続き等	
3 履修申告・単位認定及び成績	
4 履修案内	
5 複合領域コースの出願・履修・修了手続きの流れ	
6 東京工業大学四大学連合複合領域コース：ホームページのご案内	
② 複合領域コース・各コースの概要	P. 8
【4大学間コース (東京工業大学－東京医科歯科大学－東京外国語大学－一橋大学)】	
1 海外協力コース	
【3大学間コース (東京工業大学－東京医科歯科大学－一橋大学)】	
2 総合生命科学コース	
3 生活空間研究コース	
【2大学間コース (東京工業大学－一橋大学)】	
4 科学技術と知的財産コース	
5 技術と経営コース	
6 文理総合コース	
【2大学間コース (東京工業大学－東京医科歯科大学)】	
7 医用工学コース	
【2大学間コース (東京工業大学－東京外国語大学)】	
8 国際テクニカルライティングコース	
③ 複合領域コース関係の諸規則	P. 13
・四大学連合憲章	
・複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書	
・「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目	
・東京工業大学学則 (抄)	
④ 四大学連合に関するQ&A	P. 17
⑤ 【参考1】各種様式一覧	P. 19
⑥ 【参考2】コース別授業科目一覧	P. 24

①複合領域コースの履修案内

1. 出願資格等

(1) 出願資格

四大学の各大学に入学した学士課程学生で、系・学科に所属する学生を対象とします。

(2) 学生の身分

受入れ大学においては「特別聴講学生」となります。

(3) 授業料等

特別聴講学生に係る検定料・入学料及び授業料は徴収しないこととします。

(4) 履修科目

特別聴講学生が履修できる授業科目はコースごとに定められている授業科目とします。

(後掲の「コース別授業科目一覧」(P.24) 参照)

なお、授業内容の詳細については、各大学のシラバス等を参照してください。

(5) 履修計画

所属大学から協定大学までの通学時間及び所属大学での履修計画等を充分考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。本学及び協定大学の時間割上、受講できない科目については、履修を行うことは出来ません。

なお、コースごとに所属大学及び協定大学で修得する単位数が異なりますので、留意してください。

(6) 履修期間

原則として、履修する授業科目等が開講されている授業期間（クォーター・学期又は年度）とします。

(7) 受入条件

協定大学で受け入れる学生の条件（履修できる授業科目の範囲、募集人数、受入学生数、各種日程等）については、協定大学が決定します。

履修希望者は、原則として必ずいずれかのコースに所属することとします。

(8) 評価の方法

授業科目の評価（試験、レポート等）の方法については、協定大学の規則によることとします。

なお、協定大学と所属大学の試験日時が重複した場合には、事前に所属大学の担当係へ連絡して指示を受けてください。

(9) 協定大学の施設の利用

履修上必要な施設・設備（附属図書館、食堂等）を利用することができます。

通学及び施設を利用する際には、協定大学が発行する「特別聴講学生証」及び所属大学学生証を携行し、求めに応じて提示してください。

2. 出願手続き等

(1) 出願期間

複合領域コースの特別聴講学生を志願する学生は、所属する大学が定める所定の期間に手続きを行ってください。

(2) 出願方法

出願は、所属大学を通じて行います。

出願者は、所定の期間に教務 Web システムにて手続きを行ってください。

(3) 履修の可否及び通知

所属大学の定める方法により履修の可否が決定されます。決定通知は、所属大学の定める方法により通知されます。

(4) 履修辞退の手続き

履修を辞退する場合は、所属大学の担当係に相談の上、所定の手続きを行ってください。

<東工大生の出願方法>

【出願期間】 令和2年10月7日（水）～令和2年11月19日（木）

【出願方法】 教務 Web システムのアンケート「四大学連合複合領域コース出願」から、出願（顔写真データ（縦型4×3）のアップロードが必要です）。

※既に系・学科所属している学生で出願を希望する場合は、11月17日（火）までに教務課学務グループ(kyo.gak@jim.titech.ac.jp)宛にメールにてご連絡ください。アンケートフォームをお送りいたします。

【履修の可否の発表】 令和3年4月1日（木）（予定）に、メールにてお知らせします。

【備考】・2次募集は行いませんので、必ず期間内に申請を行ってください。

・最終日はサーバーが混み合う可能性がありますので、期日に余裕をもって申請手続きを行ってください。

3. 履修申告・単位認定及び成績

(1) 履修申告

所属大学の授業科目を含め、年間48単位を上限とします。なお、東京工業大学学修規程第9条第3項及び第4項に該当する学生においては、この限りではありません（56単位又は52単位とする取り扱いを適用します）。

(2) 単位認定

協定大学からの成績通知に基づき、単位が授与されている授業科目については、所属大学の定める規程等により単位を認定します。（認定される単位は60単位までです。60単位には、四大学以外の単位互換協定大学や留学中の大学で単位を修得し本学で単位認定された単位、本学入学前の他大学の既修得単位も含めますので注意してください。）

(3) 学業成績

協定大学の単位を認定された授業科目の所属大学の「成績」への記載は、協定大学における成績をそのまま転記します。なお、その際の授業科目の名称は、協定大学の複合領域コースの開講授業科目名をそのまま記載します。

＜東工大生の複合領域コースに係る単位の取扱いについて＞

【本学で修得した科目】

本学の科目区分に応じた取扱いとなります。複合領域コースの科目であることでの特別な取扱いはありません。

【協定大学で修得した科目】

成績については点数表示ではなく「認定」もしくは「不合格」という表示となります。科目区分は「系専門科目（標準学修課程外）」となります。

(4) 証明書の発行

複合領域コースの成績については、所属大学が発行する成績証明書及び単位修得証明書に記載されます。

(5) その他

その他、四大学連合憲章の趣旨に従い、修了を認定された者は将来これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材となるよう求められます。

4. 履修案内

(1) 協定大学の所在地と問い合わせ先

【東京医科歯科大学】

文京区湯島 1 - 5 - 45

学務企画課大学院教務第一係：TEL 03-5803-4676

学務企画課総務係：TEL 03-5803-5072

医学部事務部医学教務係：TEL 03-5803-5120

医学部事務部保健衛生教務係：TEL 03-5803-5119

歯学部事務部歯学系教務係：TEL 03-5803-5411

JR 中央線 [御茶ノ水駅] 下車徒歩 5 分

所要通学時間：大岡山キャンパスから 38 分

：すすかけ台キャンパスから 77 分

ホームページ <http://www.tmd.ac.jp>

【東京外国語大学】

府中市朝日町 3 - 11 - 1

教務課教務係：TEL 042-330-5168

西武多摩川線 [多磨駅] 下車徒歩 5 分

所要通学時間：大岡山キャンパスから 70 分

：すすかけ台キャンパスから 92 分

又は京王線 [飛田給駅] 下車徒歩 20 分

所要通学時間：大岡山キャンパスから 65 分

：すすかけ台キャンパスから 78 分

ホームページ <http://www.tufs.ac.jp>

【東京工業大学】

大岡山キャンパス 目黒区大岡山 2-12-1
 東急大井町線・目黒線 [大岡山駅] 下車徒歩 1 分
 すすかけ台キャンパス 横浜市緑区長津田町4259
 東急田園都市線 [すすかけ台駅] 下車徒歩 5 分
 教務課学務グループ：Tel 03-5734-7641,3004
 ホームページ <http://www.titech.ac.jp/>

【一橋大学】

国立市中 2-1
 学務部教務課学務担当：Tel 042-580-8114
 JR 中央線 [国立駅] 下車徒歩 6 分
 所要通学時間：大岡山キャンパスから 6 5 分
 ：すすかけ台キャンパスから 6 7 分
 ホームページ <http://www.hit-u.ac.jp>

(2) 協定大学の授業時間割 (R3.04.01 予定)

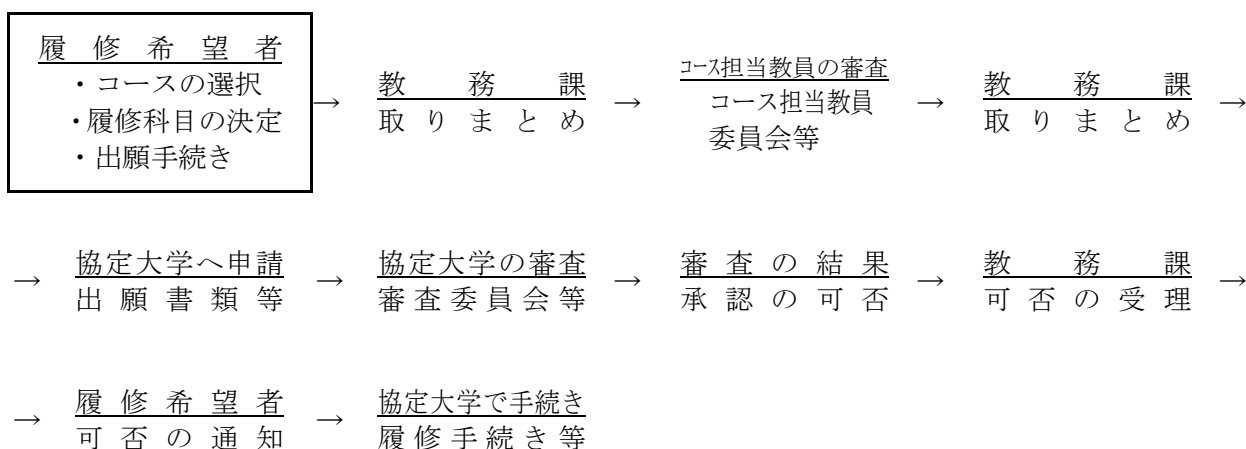
	東京工業大学	東京外国語大学	一橋大学
第 1 時限	8:50 - 9:40	8:30 - 10:00	8:45 - 10:30
第 2 時限	9:40 - 10:30	10:10 - 11:40	10:45 - 12:30
第 3 時限	10:45 - 11:35	12:40 - 14:10	13:15 - 15:00
第 4 時限	11:35 - 12:25	14:20 - 15:50	15:15 - 17:00
第 5 時限	13:30 - 14:20	16:00 - 17:30	17:10 - 18:55
第 6 時限	14:20 - 15:10		
第 7 時限	15:25 - 16:15		
第 8 時限	16:15 - 17:05		
第 9 時限	17:15 - 18:05		
第 10 時限	18:05 - 18:55		

東京医科歯科大学

	歯学部歯学科	医学部医学科	医学部保健衛生学科
第 1 時限	9:00 - 9:50	9:00 - 10:20	8:50 - 10:20
第 2 時限	10:00 - 10:50	10:30 - 11:50	10:30 - 12:00
第 3 時限	11:00 - 11:50	12:50 - 14:10	13:00 - 14:30
第 4 時限	12:50 - 13:40	14:20 - 15:40	14:40 - 16:10
第 5 時限	13:50 - 14:40	15:50 - 17:10	16:20 - 17:50
第 6 時限	14:50 - 15:40		

5. 複合領域コース出願・履修・修了手続きの流れ

【本学の学生が協定大学の授業科目を履修する場合】



【所属から修了までの例】

時期	内容
○1年目	
9月下旬～10月上旬	四大学連合複合領域コース説明会
説明会実施日～11月中旬	出願期間
12月～3月	コース所属審査（コース担当教員，委員会等）
○2年目～4年目	
4月初旬	メールにて選考結果発表
4月（10月）初旬～	前後学期各大学対象科目一覧の配布
	（一橋大）協定大学で履修申請
	（医歯大・東外大）東工大教務課で履修申請
	各大学の科目を受講
○4年目	
12月中旬～2月上旬	複合領域コース修了申請
2月中旬～	修了審査
3月下旬	学位記授与式にて複合領域コース修了証書授与

6. 東京工業大学 四大学連合複合領域コース：ホームページのご案内

下記URLにはここに記載されている情報の他に、連絡事項や最新情報等の情報を公開しています。複合領域コースに興味のある学生は是非、確認してみてください。

URL : <http://www.gakumu.titech.ac.jp/kyoumu/yondai/>



②複合領域コース・各コースの概要

— コースのねらいについて —

◎4 大学間コース（東京工業大学，東京医科歯科大学，東京外国語大学，一橋大学）

1. 海外協力コース

(1) コースのねらい，趣旨

21世紀の海外協力（および技術開発）においては，海外に対する広い視野と見識及び卓越した専門技術を習得した人材が不可欠である。もとより，このような人材を育成する努力は各大学で行われているが，4大学が協力することにより，さらに幅広い見識及び能力を有する人材を育成することを目的とする。

すなわち，各大学の多様なバックグラウンドを持つ学生が，本コースにより他分野の素養と海外に対する広い視野，見識を身につけ，グローバル化社会で活躍することを可能にする。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東工大担当者：○山下幸彦（融合理工学系）

医歯大担当者：森尾郁子（統合国際機構）

外語大担当者：藤縄康弘（総合国際学研究院）

一橋大担当者：児玉谷史朗（社）

コース定員：若干名

コース修了要件単位数：20単位

自大学；12単位，他大学；各大学2単位以上で合計8単位

単位数（自大学－他大学－他大学－他大学）；12－4－2－2，12－3－3－2

◎3 大学間コース（東京工業大学，東京医科歯科大学，一橋大学）

2. 総合生命科学コース

(1) コースのねらい，趣旨

人間は生物学的な存在であると同時に社会的存在でもあることはいままでもない。また，近年の生命科学の進歩は著しく，人間のゲノム解析も終了した中で，社会との関わりなど，広い視野をもつ人材が強く望まれている。

本コースでは，生命現象の基本とその応用，さらには人間の社会的存在を支える社会科学的な側面，特に法律的な側面ならびに言語・心理学的な側面について講義を行う。基礎医学・生物学的な面から，発生学・細胞生物学・分子生物学などに加えて，解剖学・生理学，あるいは脳の世紀を迎えて発展の著しい神経科学の講義を実施する。また，生命工学の視点からは，ゲノム情報・遺伝情報の基礎とその応用について講義を行う。これらの講義を通じて，生物・生命について考究する。加えて，医療と法律との関連について講義する。特に憲法・民法・刑法といった法律や生命倫理学からみた生殖医療などについての講義を行う。さらに，臨床医学の分野については，癌に関する基礎と臨床や法律との関連の深い救急医療などに関して講義を実施する。

このようなコースを開設し，医学・歯学・理学・工学・法学・社会学を横断する知識を有する人材の育成を図る。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東工大担当者：○田中幹子（生命理工学系）

医歯大担当者：秋田恵一（臨床解剖学）

一橋大担当者：橋本正博（法）

コース定員：若干名

コース修了要件単位数：自大学・他大学を問わず、各大学から最低4単位ずつを履修し、
計20単位以上（4－4－4）＋8
単位数（自大学－他大学－他大学）＋いずれの大学の単位でも可

3. 生活空間研究コース

(1) コースのねらい、趣旨

人類はその長い歴史の中で、様々な危険から自分たちの生命と財産を守るための生活空間を構築してきた。飢餓の恐怖から脱出したかに見える現代人はさらに一層の生活空間の快適化を求めているが、同時に現代文明の発達に伴い生成された副産物の逆作用の危険に直面している。

日本の現状に目を向けるならば、国土の保全、都市の開発、住居の建築と維持管理、交通の計画と管理、衛生と健康の改善と管理など、生活空間の安全化と快適化に関与する経済活動や就業人口がきわめて膨大なものであり、私たちが、供給できる資金や人的エネルギーの相当大きな割合をそれらに振り向けていることは間違いない。しかしながら、残念なことに、私たちはそうした資金や人的エネルギーの投下量に見合った「安心」、「快適さ」、「満足感」を獲得しているとは言いにくい。複雑化し、高度化しつつある現代社会は専門家たちの専門領域を越えた協働を不可欠のものとしているし、そうした協働の基盤となる複合領域的な性格の知識、スキル、意志決定力をこれらの専門家たちが具備することが必要とされてきている。

例えば、物質的な自然の状況に加え、歴史、文化、産業、住民の健康、自治体の財政など地域社会の全体構造をふまえてもっとも望ましい開発計画を策定し、実行しうる土木技術者、といった存在はその一例であろう。

生活空間コースは、土木工学、衛生学、公共システムに関する経済学・経営学、地域・都市と人口・労働に関する社会学・経済学などの異なる専門領域の専門家の交流と協働により、安心、安全、快適な生活空間の創造に貢献しうる知識とスキルと決断力を持つ人材の育成を目指している。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東工大担当者：○朝倉康夫（土木・環境工学系）、廣瀬壮一（土木・環境工学系）、福田大輔（土木・環境工学系）

医歯大担当者：興地隆史（歯髄生物学）

一橋大担当者：林大樹（社）、町村敬志（社）

コース定員：若干名

コース修了要件単位数：12－8－0，12－6－2，12－4－4
単位数（自大学－他大学－他大学）

◎ 2 大学間コース（東京工業大学，一橋大学）

4. 科学技術と知的財産コース

(1) コースのねらい，趣旨

科学技術の発展には、技術開発の環境を整えるとともに、開発された技術について、特許権等の知的財産権による保護が必要である。また、先端科学技術については、従来の知的財産権の法的保護の枠組みで捉えられないものがある。技術もしくは法律の専門を目指す学生も、科学技術が知的財産であるという認識を持つことが今後ますます重要になると考えられる。

そこで、本コースでは、先端科学技術の現状とその知的財産権としての保護に関して、理論上と実務上の問題を多角的な視野から学び、知的財産の重要性を理解することを目的とする。そして、このような理解を通じて、科学技術と知的財産という従来区別されてきた専門領域から、いわば“発明する側”と“活用及び保護する側”の視点を持った、複合的な知識と思考を持った学生が育つようになると考えられる。

さらに、科学技術の急速な変化や国際性に配慮する必要があり、本コースでは、最新のバイオやインターネット技術についても実例を取り上げながら、発明者ならびに科学技術の法的保護を専門とする弁理士や弁護士を招く複数の講義を開講する。

両大学の学生のうち、将来の進路として、弁理士や知的財産分野で活躍する企業人を目指す学生、科学技術の分野を専門とする法曹を目指す学生に対して、技術ならびに法律の側面から必要となる内容の講義を開講する。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東工大担当者：○金子宏直（リベラルアーツ研究教育院）、猪原健弘（リベラルアーツ研究教育院）

一橋大担当者：長塚真琴（法）

コース定員：若干名

コース修了要件単位数：14－6

単位数（自大学－他大学）

5. 技術と経営コース

(1) コースのねらい，趣旨

情報技術のめざましい発展が経済社会にとどまらず社会全般に影響を与えたように、新しい技術の開発が産業システムや企業経営に大きな影響を及ぼす。新技術がどのようなインパクトを社会に与えるか、また、社会がどのような技術開発を望んでいるのか、さらに技術導入や技術移転が地域社会にどのような影響を及ぼすかなどを学ぶことは経済・商学系のみならず理工系の学生にとっても必要である。

本コースは、技術と経営を広い視野でとらえ社会との関わりを探究できる人材の育成を目指すものである。本コースは、本学と一橋大学の“強み”を生かし、ゼミナール履修により「議論に強い東工大生」を、実験系科目履修により「実体に対する確固たるイメージを持っている一橋大生」を育成することを目的としている。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

詳細については、担当者に問い合わせのこと。

(3) 実施要領

東工大担当者 : ○妹尾 大 (経営工学系), 永田京子 (経営工学系)

一橋大担当者 : 藤原雅俊 (商)

コース定員 : 若干名

コース修了要件単位数 : 8 - 12

単位数 (自大学 - 他大学)

6. 文理総合コース

(1) コースのねらい, 趣旨

文系の一橋大学と理系の東京工業大学のメリットを生かし、一橋大生に東工大の主として数理系科目及び社会科学系科目を履修させるとともに、逆に東工大生には一橋大の文系の専門科目を履修させることにより、文理の総合的かつインターディシプリナリーな専門教育の機会を広げることが目的とし、文理の垣根を越えた幅広い視野を持った人材を育成する。

(2) 開設科目

各コースの授業科目 (予定) を参照のこと。

(3) 実施要領

東工大担当者 : ○大和毅彦 (経営工学系)

一橋大担当者 : 中山能力 (経)

コース定員 : 若干名

コース修了要件単位数 : 12 - 8

単位数 (自大学 - 他大学)

◎ 2 大学間コース (東京工業大学, 東京医科歯科大学)

7. 医用工学コース

(1) コースのねらい, 趣旨

工学系の学生には医学の基礎知識を、医学系の学生には工学の基礎知識を学ばせ、医用マイクロマシン、医療用ロボット、ドラッグデリバリーシステム、人工臓器、人工血液、人工骨、医用材料、医用計測などの先端テクノロジーに対する知識、関心を呼び起こし、課題探求型の実践的研究者、技術者の下地を作る。

(2) 開設科目

各コースの授業科目 (予定) を参照のこと。

(3) 実施要領

東工大担当者 : ○吉川史郎 (応用化学系)

医歯大担当者 : 高橋英和 (口腔機材開発工学)

コース定員 : 若干名

コース修了要件単位数 : 14 - 6

単位数 (自大学 - 他大学)

◎2 大学間コース（東京工業大学，東京外国語大学）

8. 国際テクニカルライティングコース

(1) コースのねらい，趣旨

近年の急速で著しいグローバル化，ボーダーレス化の進展に伴い，企業の海外進出のみならず産業の国際的再編が日常的に行われる時代が到来している。技術者にとっても外国語の文献を読む能力だけではなく，最新の技術情報を論文や仕様書として発信し，成果を発表し外国語で交渉できる能力が必須となってきている。また，技術者と一緒になって，技術言語を理解し，外国事情に通じ，外国語を駆使できるエキスパートとしての産業人の養成も強く求められている。

このコースでは，こうした産業界から強く求められている国際的エンジニア，及びテクニカルライターを養成し，グローバル化された国際ビジネスのエリアに優れた人材を供給することを目的とする。

このコースのコアカリキュラムとしては，実用性の高い外国語能力と工学の基本思想とに精通した専門家の養成を目指す。英語を中心とする国際語に精通するだけではなく，日本の産業界との結びつきの強い，アメリカ，アジア，ヨーロッパ，南米の各外国語及びそれら地域の文化や事情にも通じた国際人の養成を行う。同時に，少なくとも工学の主要分野の概論修得を必須とする。

(2) 開設科目

各コースの授業科目（予定）を参照のこと。

(3) 実施要領

東工大担当者：○田村斉敏（リベラルアーツ研究教育院）

東外大担当者：相木裕史（英語），大谷直輝（英語）

コース定員：若干名

コース修了要件単位数：10－10

単位数（自大学－他大学）

③複合領域コース関係の諸規則

四大学連合憲章

21世紀を迎えた今、グローバル化された社会において、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立することを基本的理念とし、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学は、ここに、四大学連合を結成する。

四大学連合は、連合を構成する各大学が、それぞれ独立を保ちつつ、研究教育の内容に応じて連携を図ることで、これまでの高等教育で達成できなかった新しい人材の育成と、学際領域、複合領域の研究教育の更なる推進を図ることを目的とする。

各大学が相互に連携を図るにあたっては、各大学が、それぞれ異なる分野の学部、研究科及び研究所等を有していることを踏まえ、

- ① 履修や進学に関して、学生の選択の幅を拡大し、より良い教育体制を確立すること。
- ② 共同研究プロジェクトや学際的な研究領域での協力を行うことにより、国際的な研究水準の維持・達成を目指すこと。
- ③ 海外の大学との連携により、研究教育の更なる発展・向上を目指すこと。

という三点を具体的な目標として、学生、教員及び研究者の交流を図り、各大学の研究教育の水準を一層向上させるよう努力するものとする。

2001年3月15日

東京医科歯科大学長
鈴木章夫

東京外国語大学長
中嶋嶺雄

東京工業大学長
内藤喜之

一橋大学長
石 弘光

複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書

東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学及び一橋大学は、「四大学連合憲章」に基づき、2001年3月15日に調印された『「複合領域コース」、「編入学」及び「複数学士号」に関する三大学協定書』を一部修正するとともに、研究教育の内容に応じて、相互に緊密に連携し、学生、教員、研究者の交流を活発化させることにより、各大学の研究教育の水準を、より一層向上させることに合意し、次のとおり協定を締結する。

1. 「複合領域コース」(特別履修プログラム)の設定
 - (1) 一大学では提供できない教育プログラムを、二大学又は三大学又は四大学が、相互に提供するため、「複合領域コース」を設定し、これまでの高等教育機関が育てることのできなかった新しい人材を育成することを目的とする。
 - (2) 2年次以上の学科等に所属する学部学生を対象とする。ただし、東京医科歯科大学においては、全学共通科目を修得した学生に限ることとする。
 - (3) 履修を希望する学生の募集、選考方法は、各コースごとに定める。
 - (4) 学生は、他大学の「特別聴講学生」とし、図書館その他の施設を利用できるものとする。
 - (5) 学生が、他大学で取得した単位は、所属大学の単位に換算(単位互換)するものとする。
2. 「編入学」の実施
「複合領域コース」を履修している学生に対し、関連した他大学への「編入学」の途を開くものとする。
3. 「複数学士号」(dual degree)の創設
関連する二大学の間で、「複合領域コース」を履修した学生に対する「複数学士号」の制度を創設し、これを組織的に推進する。
4. 上記2、3の実施に関する共通細目は、別途、定める。
5. 上記1～3の実施に関し必要な事項は、関連大学相互に、別途、協定を締結するものとする。

6. 上記1～3のほか、さらに、四大学の連携を拡充しようとする場合、又は、本協定の内容に疑義を生じた場合は、四大学において、その都度、協議するものとする。
7. 本協定は、2003年4月1日より実施の『「複合領域コース」、「編入学」及び「複数学士号」に関する三大学協定書』に代わるものとして、2005年4月1日より効力を有するものとする。

2005年 4月 1日

東京医科歯科大学長	鈴木 章夫
東京外国語大学長	池端 雪浦
東京工業大学長	相澤 益男
一橋大学長	杉山 武彦

「四大学連合憲章」及び「複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書」に関する合意書

2001年3月15日付けで締結した四大学連合憲章（以下「憲章」という。）及び2005年4月1日付けで締結した複合領域コース、編入学及び複数学士号に関する協定書（以下「協定書」という。）について、以下のとおり取り扱うことに合意する。

- 1 憲章本文中「学部、研究科及び研究所等」とあるのは、東京工業大学における「学院」を含むものとする。
- 2 協定書本文中「2年次以上の学科等に所属する学部学生」とあるのは、東京工業大学における「2年次相当以上の系に所属する学士課程学生」を含むものとする。
- 3 この合意書は、2016年4月1日から効力を有するものとする。

2016年 4月 1日

東京医科歯科大学長	吉澤 靖之
東京外国語大学長	立石 博高
東京工業大学長	三島 良直
一橋大学長	蓼沼 宏一

「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目

1. 「複合領域コース」の設定及び「編入学」
 - (1) 他大学の2年次終了後、受入れ大学の3年次に編入させる。ただし、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科については、2年次に編入させる。
 - (2) 編入学の受入れ数は、各学部ごとに、若干名とする。
 - (3) 編入学の受入れは、原則として、受入れ大学において、所属大学の履修成績、「複合領域コース」の履修成績、学習計画、学生の意欲などの総合判定により、決定する。(AO入試)
 - (4) 東京医科歯科大学医学部医学科及び歯学部歯学科は、原則として、「複合領域コースに関する協定書」による編入学の受入れを行わない。
 - (5) 一橋大学社会学部は、東京外国語大学との間での「複合領域コース」の設定及び「編入学」の受入れを行わない。

2. 複数学士号

(1) 実施の形態は、次の6通りとする。

- ① 一橋大学又は東京工業大学の学生が、当該大学に、3～4年間在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等又は学士(工学)等を授与された上、東京工業大学、一橋大学又は東京外国語大学に学士入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(工学)等、学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与されること。
 - ② 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科の学生が、4年間在学し、所定の単位を取得し、学士(看護学)又は学士(保健学)、学士(口腔保健学)を授与された上、一橋大学、東京工業大学又は東京外国語大学に学士入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等、学士(工学)等又は学士(言語・地域文化)を授与されること。
 - ③ 一橋大学又は東京工業大学の学生が、当該大学に、2年間在学し、一旦退学し、東京工業大学、一橋大学又は東京外国語大学に編入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(工学)等、学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上、一橋大学又は東京工業大学に再入学し、1～2年間程度在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等又は学士(工学)等を授与されること。
 - ④ 東京医科歯科大学医学部医学科又は歯学部歯学科の学生が、2年間在学し、一旦退学し、東京工業大学、一橋大学又は東京外国語大学に編入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(工学)等、学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上、東京医科歯科大学に再入学し、4年間在学し、学士(医学)又は学士(歯学)を授与されること。
 - ⑤ 一橋大学、東京工業大学又は東京外国語大学の学生が、当該大学に、3～4年在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等、学士(工学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科に学士入学し、国家試験受験資格を具備するため、3年間在学し、学士(看護学)又は学士(保健学)を授与されること。
 - ⑥ 東京外国語大学の学生が、4年間在学し、所定の単位を取得し、学士(言語・地域文化)を授与された上、一橋大学又は東京工業大学に学士入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等又は学士(工学)等を授与されること。
- (2) 上記(1)以外の形態をとる必要が生じた場合は、その都度、関連大学相互において、協議するものとする。
- (3) 上記(1)③及び④の再入学にあたっては、入学料及び検定料は不徴収とする。編入学大学において、学士(工学)等、学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与されなかった者も同様とする。
- (4) 「学士入学」、「編入学」の受入れ数、受入れ方法については、前記1の(2)及び(3)を準用する。ただし、東京医科歯科大学医学部医学科及び歯学部歯学科については、一般公募される「学士編入学制度」に、東京外国語大学については、一般公募される「編入学制度」によるものとする。
- (5) 本実施細則において、東京工業大学及び東京医科歯科大学医学部保健衛生学科への「編入学」については、これを「転入学」と読み替える。

3. この実施細目は、2001年4月1日より実施の『「複合領域コース」の履修者に係る「編入学」及び「複数学士号」に関する実施細目』に代わるものとして、2009年4月1日から実施する。

東京工業大学学則(抄)

(再入学)

第13条 本学を卒業した者、第19条若しくは第20条の規定により退学した者又は第45条第4

号若しくは第5号の規定により除籍された者が再び入学を願い出たときは、前条の規定にかかわらず、審査のうえ入学を許可することがある。ただし、第19条の規定により退学した者又は第45条第4号若しくは第5号の規定により除籍された者にあつては、収容力のある場合に限る。

- 2 四大学連合複合領域コースを履修する者（以下「複合領域コース履修者」という。）が第20条の規定により退学し、協定大学に編入学した後再び入学を願い出て入学を許可された場合は、3年次相当に入学する。

（転入学）

第14条 他の大学に在学している者で、本学に転入学を願い出る者があるときは、収容力のある場合に限り、学力その他について審査のうえ入学を許可することがある。

- 2 協定大学に2年以上在学する複合領域コース履修者（第20条により退学した者を除く。）が本学に転入学を願い出て入学を許可された場合は、3年次相当又は2年次相当に入学する。

（協定大学編入学のための退学）

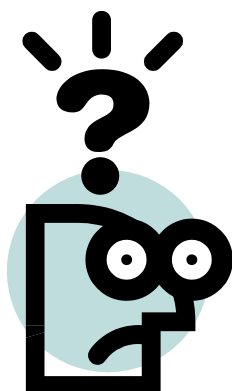
第20条 複合領域コース履修者が協定大学に編入学するときは、願い出て退学するものとする。

（入学料）

第36条

- 2 前項の規定にかかわらず、第20条の規定により退学した複合領域コース履修者が協定大学に編入学した後、再入学する場合は、入学料は徴収しないものとする。

④四大学連合に関するQ & A



東京医科歯科大学，東京外国語大学，東京工業大学，一橋大学の四大学は，平成13年4月をもって連合協定を結び，平成13年度以降の入学者を対象とした複合領域コースを設置して個々の大学では提供できない授業科目を履修させることにより，従来の高等教育では育成できなかった広範囲の学際的分野の知識を有した学生の教育と，編入学や複数学士などの方法による学生の勉学・進路にかかわる選択肢の拡大を目指しています。

なお，東京外国語大学への編入学の関係は現在調整中なので，以下の説明のうち編入学の記載については3大学間でのみ運用可能なものです。

Q. 「複合領域コース」って何ですか？

A. 学際的分野に興味を持ったり，幅広い知識を習得したい学生に対して，個々の大学では対応できない講義を四大学連合で協力して集め，コースという形に整えたものです。例えば，東京工業大学の学生で「複合領域コース」の履修を許可された者は，コースに提供された講義を東京医科歯科大学や一橋大学で「特別聴講学生」として受講することが可能となる制度です。履修科目は取得単位として認められます。

Q. 四大学連合の定員は何人ですか？どこで勉強することになるのですか？

A. 四大学連合という形で定員を設けて入学試験を行うものではありませんので，入学定員はありません。四大学連合の各々の大学に平成13年度以降に入学した学生の中で他大学の分野に興味を抱いた学生が系に進級する時点で，連合で提供する例えば一橋大学と東京工業大学の2大学間の「複合領域コース」を履修してみたいと思うときに非正規科目として当該コースの受講が可能となるものです。

したがって，この場合は一橋大学又は東京工業大学のいずれかの学士課程に入学していなければなりません。1年目のときは所属する大学で勉強をし，当該コースの履修を許可された2年目からは所属する大学で正規の科目を勉強するかたわら，一橋大学と東京工業大学の両大学で所属したコースの受講科目を履修することになります。取得した単位は単位互換協定により卒業要件に含むことができます。

東京医科歯科大学を含めた3大学間のコースを選択した場合は3つの大学で2年目以降勉強することになります。

Q. 「複合領域コース」はいつからスタートしたのですか？

A. まず，対象となる学生は2001年度以降に入学した学生になります。

その学生が2年（大学によっては3年）に進級した段階で「複合領域コース」の履修を願い出すことができます。したがって，「複合領域コース」は2002年度がスタートの年でした。

Q. 四大学連合の大学に在籍していれば他の大学の授業を自由に受講できるのですか？

A. 現在のところ，系への進級段階でいくつか設定される「複合領域コース」のうちで興味のあるコースの履修を認められた学生に対して，そのコースに設けられた科目について他大学の受講が認められることになっています。

Q. 「複合領域コース」の科目を履修するだけで卒業できるのですか？

A. コース修了は大学を卒業することが前提となります。なお、卒業の要件は大学毎に異なっていますが、コース修了だけでその要件を満たすことはできません。在籍する大学の所属系の科目等を履修しながら、コースを履修しなければなりません。コース履修希望者は、入学後、コース担当教員や系の先生とよく相談の上、学修計画を立ててから履修することを強く勧めます。

Q. 四大学連合の大学に入学できれば所属する大学以外の大学に編入学できるというのは本当ですか？

A. 編入学の制度は有ります。詳細はそれぞれ周知される要項等を確認していただくこととなりますが、四大学連合のいずれかの大学に在学していれば連合の他の大学に自動的に編入学できるというものではありません。

「複合領域コース」を受講している学生がコースに関連した大学の特定の系等への編入学を希望した場合に、受講した科目の成績や受講態度などを総合的に評価した上で編入学が許可されることがある制度です。編入学が行われるとしても若干名になります。また、「複合領域コース」が大学間で設定されていたとしても、編入学を希望できるのは、履修したコースの主体となる学院(学部)、系(学科)に限定されることとなります。東京医科歯科大学の医学部医学科、歯学部歯学科はすでに発足させた別の制度があるため、他大学からの編入学の対象とはなっていません。(これらの学科へ編入学するには同大学の学士編入学制度に応募する必要があります。)現在の四大学連合制度のもとでの同大学への編入学は医学部保健衛生学科に対してのみ可能です。

上記を踏まえ、編入学を希望する場合は、コース担当教員に相談してください。

Q. 複数の学士号はどのようにすれば取れますか？

A. 次のような三つの方法があります。

- (1) 一橋大学又は東京工業大学の学生が、当該大学に、3～4年間在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等又は学士(工学)等を授与された上、東京工業大学、一橋大学又は東京外国語大学に学士入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(工学)等、学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与される場合
- (2) 一橋大学又は東京工業大学の学生が、当該大学に、2年間在学し、一旦退学し、東京工業大学、一橋大学又は東京外国語大学に編入学し、1～2年間程度在学して、当該大学所定の単位を取得し、学士(工学)等、学士(商学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上、一橋大学又は東京工業大学に再入学し、1～2年間程度在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等又は学士(工学)等を授与されること。
- (3) 一橋大学、東京工業大学又は東京外国語大学の学生が、当該大学に、3～4年間在学し、当該大学所定の単位を取得し、学士(商学)等、学士(工学)等又は学士(言語・地域文化)を授与された上、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科に学士入学し、国家試験受験資格を具備するため、3年間在学し、学士(看護学)又は学士(保健学)を授与されること。

以上のいずれの場合でも、学士入学や編入学が認められるためには、「複合領域コース」を受講し、成績などが適切であると判定されることが条件となります。

⑤【参考1】各種様式一覧 ※様式は教務課窓口及び複合領域コースHPにて入手可能

別紙様式1

(年度等) 四大学連合「複合領域コース」履修願

年 月 日

学長 殿

所 属 大 学	大 学
所 属 複 合 領 域 コ ー ス	コ ー ス
所属学院(学部)・ 系(学科)	学院(学部) 系(学科)
学 籍 番 号	
氏名(フリガナ)	
連絡先電話番号	(自宅・携帯)
Eメールアドレス	

私は、四大学連合憲章に基づく複合領域コースとして貴大学で開講の下記科目を履修したいので、許可願います。

記

授 業 科 目 名	担当教員	単 位	開講曜日	開講時間

※電子媒体による場合は、出力時等所定の体裁であること。

受付日	処理日
/	/

年 月 日

東京工業大学長 殿

辞 退 届

私は、複合領域コースの特別聴講学生を辞退したいので、下記のとおり届け出ます。

記

フリガナ					
氏 名					
学 籍 番 号					
所属学院（学部）・系（学科）	東京工業大学	学院（学部）	系（学科）		
所属複合領域 コース名・協定 大 学 名	（				コース 大学）
辞 退 理 由					
現在履修中の 科 目 名 ※ 大学名も記 入すること	授 業 科 目 名（大学名）	担当教員	単 位	開講曜日	開講時限

※電子媒体による場合は、出力時等所定の体裁であること。

受付日	処理日
/	/

年 月 日

東京工業大学長 殿

_____大学

(氏名) _____

四大学連合「複合領域コース」における学修申告について

私は、貴学における_____年_____クォーターの授業申告に関し、私が所属する四大学連合「複合領域コース」の_____コースとは関係ない下記の科目を申告しました。

私は、これらの科目が (1) 複合領域コース修了の要件に含まれないこと、および (2) 単位修得後の単位互換は認められないことを了解しております。

記

授 業 科 目 名	担当教員	単 位	講曜日	開講時限

※電子媒体による場合は、出力時等所定の体裁であること。

年 月 日

四大学連合「複合領域コース」の修了について(申請)

東京工業大学長 殿

所属系(学科) _____

学籍番号 _____

氏 名 _____ ㊞

私は、下記の単位を修得したことにより、四大学連合「複合領域コース」の修了を申請します。

記

所属コース名	コース	所属年月	年 月		
開講大学名	科 目 名	単位数	教務 確認	備 考	
合計	単位 【自大学	単位-他大学(1)	単位-他大学(2)	単位】	

※以下に該当する科目がある場合は、備考にその旨を記載すること。

- ・修得予定の後学期開講科目(9月卒業の場合は前学期開講科目)で修了要件を満たす→「修得予定」
- ・東工大開講のコース外科目を、コースの科目として取り扱うことについてコース主査の承認を得ている
→「コース外科目承認済」

年 月 日

四大学連合「複合領域コース」の修了について(回答)

このことについて、上記のとおり卒業資格が得られることを条件として修了を認めます。

_____コース担当主査 氏名 _____ ㊞

東京工業大学長 殿

所属系（学科） _____

学籍番号 _____

氏 名 _____ (印)

四大学連合「複合領域コース」所属コースの変更について（申請）

私は、_____年度__学期より，四大学連合「複合領域コース」において現在，所属しているコースを変更することを許可していただきたく申請いたします。

記

現所属コース	複合領域コース
↓	
所属希望コース	複合領域コース

変更理由

(注：以下，各コース担当主査の承認を得た上で提出してください)

四大学連合「複合領域コース」所属コースの変更について（回答）

このことについて，申請のとおり所属コースの変更を認めます。

現所属複合領域コース担当主査 _____ (印)

所属希望複合領域コース担当主査 _____ (印)

⑥【参考2】コース別授業科目一覧

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

<注意事項>

- ・時間割は、時間割表やOCW(シラバス)で確認すること。
- ・集中講義の日程は、OCWや掲示で確認し、わからないものは直接担当教員に問い合わせること。
- ・一覧表に記載のない東工大の開設科目については、読み替えを認めることもあるので、コース主査に相談すること。

[1] 海外協力コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
※A,D	情報理工学院	XCO.B101	情報理工学基礎1	1-0-0	2Q
※A,D	情報理工学院	XCO.B102	情報理工学基礎2	1-0-0	3Q
※A,D	情報理工学院	XCO.B103	情報理工学基礎3	1-0-0	4Q
C	機械系	MEC.I211	ロボット機構学	2-0-0	3Q
A,D	電気電子系	EEE.C331	コンピュータアーキテクチャ(電気電子)	1-0-0	3Q
A,D	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q
D	電気電子系	EEE.P321	電力工学第一	2-0-0	2Q
A,D	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q
※B	応用化学系	CAP.B211	有機化学第一(アルカン)(応用化学)	1-0-0	1Q
B	応用化学系	CAP.B212	有機化学第二(アルケン)	1-0-0	2Q
B	応用化学系	CAP.B213	有機化学第三(芳香族)	1-0-0	3Q
B	応用化学系	CAP.B221	無機化学第一(結合論)	1-0-0	1Q
B	応用化学系	CAP.B222	無機化学第二(反応と構造)	1-0-0	2Q
A,B	応用化学系	CAP.C201	移動現象第一(運動量移動)	1-0-0	2Q
A,B	応用化学系	CAP.C202	移動現象第二(熱移動)	1-0-0	3Q
A,B	応用化学系	CAP.C203	移動現象第三(物質移動)	1-0-0	3Q
A,B	応用化学系	CAP.C211	エネルギー操作	1-0-0	4Q
A,B	応用化学系	CAP.C212	分離操作	1-0-0	4Q
A,B	応用化学系	CAP.C311	粒子・流体操作	1-0-0	1Q
E	土木・環境工学系	CVE.B311	河川工学	2-0-0	3Q
A,E	土木・環境工学系	CVE.N301	土木史・土木技術者倫理	2-0-0	4Q
○	融合理工学系	TSE.C301	国際開発共創概論	2-0-0	1Q(英語)
○	融合理工学系	TSE.C302	開発経済学入門	2-0-0	3Q(英語)
○	融合理工学系	TSE.C303	プロジェクトマネジメント	1-0-1	2Q(英語)
○	融合理工学系	TSE.C312	社会環境政策概論	2-0-0	3Q(英語)
△	融合理工学系	TSE.M201	常微分方程式と物理現象	1-1-0	1Q
△	融合理工学系	TSE.M202	偏微分方程式と物理現象	1-1-0	3Q
△	融合理工学系	TSE.M204	統計とデータ解析	1-1-0	4Q

(備考)

- ・開設科目に「※」が付されているものは、東京工業大学所属の学生が本コースの修了要件に含めることはできない。
- ・開設科目に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。
- ・開設科目に「△」が付されているものは、()内にA以外を含む科目(△をのぞく)を履修する場合に、数学に自信のない学生に履修してほしい科目である。
- ・特に定まった組み合わせはないが、A(一般)、B(化工系)、C(機械系)、D(電気・情報系)、E(土木系)となっている。

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[2]総合生命科学コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	生命理工学系	LST.A201	物理化学第一(熱力学, 反応速度)	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A202	有機化学第一(アルカン, ハロアルカン)	2-0-0	1Q
○	生命理工学系	LST.A203	生物化学第一	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A206	物理化学第二(統計熱力学)	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A207	有機化学第二(アルコール, アルケン)	2-0-0	2Q
○	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A211	物理化学第三(分子軌道, 相互作用)	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A212	有機化学第三(ベンゼン, ケトン)	2-0-0	3Q
○	生命理工学系	LST.A213	分子生物学第二	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A217	有機化学第四(カルボニル化合物, アミン)	2-0-0	4Q
○	生命理工学系	LST.A218	生物化学第二	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A241	生命統計学	2-0-0	休講
	生命理工学系	LST.A242	バイオ機器分析	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A243	発生生物学	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A246	生命情報学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A247	基礎生物無機化学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A248	遺伝学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A249	生物化学工学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A333	生物有機化学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A334	植物生理学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A336	遺伝子工学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A341	生物物理化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A343	医薬品化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A345	微生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A346	基礎神経科学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A347	進化生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A351	ゲノム情報学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A354	生命倫理・法規	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A361	光合成科学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A363	環境生物工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A364	酵素工学	2-0-0	1Q

(備考)

・開設科目に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[3]生活空間研究コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	経営工学系	IEE.B207	計量経済学第一	2-0-0	3Q
	建築学系	ARC.D202	西洋建築史	2-0-0	4Q
	建築学系	ARC.P302	ランドスケープ	2-0-0	休講
	建築学系	ARC.P303	住環境計画	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.B311	河川工学	2-0-0	3Q
	土木・環境工学系	CVE.C311	地盤調査・施工学	2-0-0	4Q
○	土木・環境工学系	CVE.D201	土木計画学基礎	2-0-0	1Q
	土木・環境工学系	CVE.D210	土木と環境の計画理論	2-0-0	3Q
○	土木・環境工学系	CVE.D211	国土・都市計画概論	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.D301	交通システム工学	2-0-0	1Q
	土木・環境工学系	CVE.D310	景観学	2-0-0	1~2Q
	土木・環境工学系	CVE.D311	公共経済学	2-0-0	3~4Q
	土木・環境工学系	CVE.D313	インフラストラクチャーの都市計画	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.E201	コンクリート工学	2-0-0	3Q
○	土木・環境工学系	CVE.G310	水環境工学	2-0-0	2Q
	土木・環境工学系	CVE.M203	測量学	2-0-0	4Q
○	土木・環境工学系	CVE.N210	社会基盤と環境-概論	2-0-0	1Q
	土木・環境工学系	CVE.N232	構造・空間デザイン演習	1-1-0	3~4Q
	土木・環境工学系	CVE.N301	土木史・土木技術者倫理	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.N310	社会基盤と環境-特別講義	2-0-0	3~4Q
○	融合理工学系	TSE.A314	水・物質循環システム概論	1-0-0	4Q

(備考)

・開設科目に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[4]科学技術と知的財産コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	文系教養科目	—	「人文系ゼミ」「社会科学系ゼミ」「融合系ゼミ」	0-2-0	1~2Q, 3~4Q
	文系教養科目	LAH.S303	法学(民事法・知財)C	2-0-0	3Q
	文系教養科目	LAH.T307	意思決定論C	2-0-0	2Q
※	理工系教養科目(化学)	LAS.C101	無機化学基礎	1-0-0	1Q
※	理工系教養科目(化学)	LAS.C103	有機化学基礎	1-0-0	1Q
※	理工系教養科目(化学)	LAS.C105	量子化学基礎	1-0-0	3Q
※	理工系教養科目(化学)	LAS.C107	化学熱力学基礎	1-0-0	3Q
※	理工系教養科目(情報)	LAS.I111	情報リテラシ第一	0.5-0.5-0	1Q
※	理工系教養科目(情報)	LAS.I112	情報リテラシ第二	0.5-0.5-0	2Q
※	理工系教養科目(情報)	LAS.I121	コンピュータサイエンス第一	0.5-0.5-0	3Q
※	理工系教養科目(情報)	LAS.I122	コンピュータサイエンス第二	0.5-0.5-0	4Q
※	情報理工学院	XCO.B101	情報理工学基礎1	1-0-0	2Q
※	情報理工学院	XCO.B102	情報理工学基礎2	1-0-0	3Q
※	情報理工学院	XCO.B103	情報理工学基礎3	1-0-0	4Q
	機械系	MEC.D201	機械力学	1.5-0.5-0	3Q
	機械系	MEC.I211	ロボット機構学	2-0-0	3Q
○	機械系	MEC.I312	モデリングと制御	2-0-0	2Q
○	機械系	MEC.I331	メカトロニクス工学(機械)	2-0-0	3Q
○	機械系	MEC.Q201	機械システム学	1-0-1	4Q
○	システム制御系	SCE.P201	システム創造設計	0-1-1	2Q
○	システム制御系	SCE.S201	メカトロニクス設計概論	2-0-0	1Q
	電気電子系	EEE.C361	線形制御理論	2-0-0	3Q
○	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q
○	電気電子系	EEE.M221	計算アルゴリズムとプログラミング	2-0-0	2Q
	電気電子系	EEE.P361	電気法規および施設管理	1-0-0	4Q
	電気電子系	EEE.P396	一般機械工学	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.C205	通信理論(情報通信)	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.C209	代数系と符号理論	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.C214	通信方式	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.C301	ネットワーク基礎理論	2-0-0	1Q
	情報通信系	ICT.H212	オートマトンと言語(情報通信)	2-1-0	3Q
	情報通信系	ICT.H313	感覚知覚システム	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.H318	人工知能基礎(情報通信)	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.I203	交流回路	2-0-0	1Q
	情報通信系	ICT.I207	線形回路	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.I211	論理回路設計	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.I216	計算機論理設計(情報通信)	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.I303	集積回路設計	2-0-0	1Q
	情報通信系	ICT.I308	計算機アーキテクチャ(情報通信)	2-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.I312	線形電子回路	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.M202	確率と統計(情報通信)	2-1-0	1Q
	情報通信系	ICT.M215	離散構造とアルゴリズム	2-1-0	4Q
	情報通信系	ICT.M310	数理計画法	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.M316	数値解析(情報通信)	2-0-0	4Q
	情報通信系	ICT.P204	プログラミング基礎(情報通信)	1-0-1	1Q

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[4]科学技術と知的財産コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	情報通信系	ICT.P208	プログラミング発展	1-0-1	2Q
	情報通信系	ICT.S206	信号とシステム解析	2-1-0	2Q
	情報通信系	ICT.S210	デジタル信号処理	2-0-0	3Q
	情報通信系	ICT.S302	関数解析と逆問題	2-0-0	1Q
○	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q
	材料系	MAT.A203	材料量子力学	2-0-0	1Q
※	材料系	MAT.A204	材料熱力学	2-0-0	1Q
	材料系	MAT.A206	材料の熱的機械的性質	2-0-0	1Q
	材料系	MAT.C205	セラミックス概論	2-0-0	2Q
	材料系	MAT.M202	統計力学 (M)	2-0-0	3Q
	材料系	MAT.P203	物理化学(化学反応速度論)	1-0-0	休講
	材料系	MAT.P211	有機化学(構造-I)	1-0-0	1Q
	材料系	MAT.P212	有機化学(構造-II)	1-0-0	2Q
	材料系	MAT.P213	有機化学(反応)A	1-0-0	3Q
	材料系	MAT.P214	有機化学(反応)B	1-0-0	4Q
	材料系	MAT.P304	物理化学(電気化学)	1-0-0	2Q
※	応用化学系	CAP.B211	有機化学第一 (アルカン) (応用化学)	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.B212	有機化学第二 (アルケン)	1-0-0	2Q
	応用化学系	CAP.B213	有機化学第三 (芳香族)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.B218	物理化学第三 (反応速度論)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.B219	物理化学 (分子運動論)	1-0-0	4Q
	応用化学系	CAP.B226	量子化学第一 (基礎)	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.B227	量子化学第二 (発展)	1-0-0	2Q
	応用化学系	CAP.P343	高分子工業化学	1-0-0	4Q
	情報工学系	CSC.T241	計算基礎論	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T242	確率論・統計学	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T251	オートマトンと形式言語	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T252	論理回路理論	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T261	情報論理	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T262	アセンブリ言語	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T272	人工知能	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T342	問題解決と意思決定	2-0-0	4Q
	情報工学系	CSC.T343	データベース	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T345	コンピュータネットワーク	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T351	システム解析	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T352	パターン認識	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T353	生命情報解析	2-0-0	2Q
	情報工学系	CSC.T362	数値計算法	2-0-0	1Q
	情報工学系	CSC.T363	コンピュータアーキテクチャ	2-1-0	3Q
	情報工学系	CSC.T371	システムソフトウェア	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T372	コンパイラ構成	1-1-0	2Q
	情報工学系	CSC.T373	動的システム	2-0-0	3Q
	情報工学系	CSC.T374	システム制御	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A201	物理化学第一 (熱力学, 反応速度)	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A202	有機化学第一(アルカン, ハロアルカン)	2-0-0	1Q

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[4]科学技術と知的財産コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	生命理工学系	LST.A203	生物化学第一	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A206	物理化学第二(統計熱力学)	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A207	有機化学第二(アルコール, アルケン)	2-0-0	2Q
○	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A211	物理化学第三(分子軌道, 相互作用)	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A212	有機化学第三(ベンゼン, ケトン)	2-0-0	3Q
○	生命理工学系	LST.A213	分子生物学第二	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A217	有機化学第四(カルボニル化合物, アミン)	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A218	生物化学第二	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A241	生命統計学	2-0-0	休講
	生命理工学系	LST.A242	バイオ機器分析	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A246	生命情報学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A247	基礎生物無機化学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A248	遺伝学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A249	生物化学工学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A333	生物有機化学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A334	植物生理学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A336	遺伝子工学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A341	生物物理化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A343	医薬品化学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A345	微生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A346	基礎神経科学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A347	進化生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A351	ゲノム情報学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A354	生命倫理・法規	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A361	光合成科学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A363	環境生物工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A364	酵素工学	2-0-0	1Q

(備考)

- ・開設科目に「○」が付されているものは、本コースの推奨科目である。
- ・開設科目に「※」が付されているものは、東京工業大学所属の学生が本コースの修了要件に含めることはできない。

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[5] 技術と経営コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	電気電子系	EEE.C361	線形制御理論	2-0-0	3Q
	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q
	情報通信系	ICT.H318	人工知能基礎(情報通信)	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A206	オペレーションズ・リサーチ 基礎	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A330	オペレーションズ・リサーチ応用	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B208	社会と経済	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.C201	情報システム基礎	2-0-0	休講
	経営工学系	IEE.C203	工業心理学	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.C301	経営情報システム	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.C302	品質管理	1-1-0	休講
	経営工学系	IEE.C303	生産管理	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.C304	人間工学	1-1-1	3~4Q
	経営工学系	IEE.C305	データ収集・分析	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.D203	マーケティング	2-0-0	4Q
	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[6]文理総合コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	数学系	MTH.U211	基礎工業数学第一a	1-0-0	1Q
	数学系	MTH.U212	基礎工業数学第一b	1-0-0	2Q
	数学系	MTH.U213	基礎工業数学第二a	1-0-0	3Q
	数学系	MTH.U214	基礎工業数学第二b	1-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A201	経営・経済のための基礎数理	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.A202	経営・経済数学	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.A203	数理工学	2-0-0	3Q
	経営工学系	IEE.A204	経営・経済のための確率	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.A205	経営・経済のための統計	1-1-0	2Q
	経営工学系	IEE.A206	オペレーションズ・リサーチ 基礎	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.A330	オペレーションズ・リサーチ応用	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B201	ミクロ経済学第一	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B202	ミクロ経済学第二	2-0-0	3Q
	経営工学系	IEE.B203	マクロ経済学第一	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.B204	マクロ経済学第二	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.B205	非協力ゲーム理論	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.B206	実験経済学	1-1-0	4Q
	経営工学系	IEE.B207	計量経済学第一	2-0-0	3Q
	経営工学系	IEE.B208	社会と経済	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.B301	計量経済学第二	2-0-0	休講
	経営工学系	IEE.B302	協力ゲーム理論	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B330	行動経済・経営論	2-0-0	3Q
	経営工学系	IEE.B331	持続可能社会・経済論	2-0-0	休講
	経営工学系	IEE.B332	応用マクロ経済学	2-0-0	1Q
	経営工学系	IEE.B333	環境経済学	2-0-0	4Q
	経営工学系	IEE.B334	数量経済史	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.B335	比較経済分析	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.B336	応用計量経済学	1-1-0	休講
	経営工学系	IEE.B337	経営・経済のための最適化理論	2-0-0	2Q
	経営工学系	IEE.C203	工業心理学	1-1-0	3Q
	経営工学系	IEE.D201	経営管理論	1-1-0	1Q
	経営工学系	IEE.D203	マーケティング	2-0-0	4Q
	数理・計算科学系	MCS.T212	確率論基礎	2-1-0	2Q
	数理・計算科学系	MCS.T223	数理統計学	2-1-0	3Q
	数理・計算科学系	MCS.T302	数理最適化	2-1-0	1Q
	数理・計算科学系	MCS.T312	マルコフ解析	2-0-0	2Q
	数理・計算科学系	MCS.T332	データ解析	2-0-0	4Q
	数理・計算科学系	MCS.T333	情報理論	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A211	物理化学第三(分子軌道, 相互作用)	2-0-0	3Q
	生命理工学系	LST.A213	分子生物学第二	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A242	バイオ機器分析	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A249	生物化学工学	2-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A333	生物有機化学	2-0-0	1Q

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[6]文理総合コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	生命理工学系	LST.A334	植物生理学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A336	遺伝子工学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A345	微生物学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A354	生命倫理・法規	2-0-0	2Q
	建築学系	ARC.P305	国土・都市計画論	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.D211	国土・都市計画概論	2-0-0	4Q
	土木・環境工学系	CVE.M202	システム数理基礎・演習	1-1-0	2Q

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[7] 医用工学コース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
	機械系	MEC.C201	材料力学	1.5-0.5-0	1Q
	機械系	MEC.C211	弾塑性力学	2-0-0	4Q
	機械系	MEC.J333	トライボロジーの基礎	2-0-0	3Q
	システム制御系	SCE.C201	動的システム基礎	2-0-0	2Q
	システム制御系	SCE.I201	計測・信号処理基礎	2-0-0	2Q
	電気電子系	EEE.C301	電子計測	2-0-0	2Q
	電気電子系	EEE.M241	離散時間システム	1-0-0	4Q
	材料系	MAT.A206	材料の熱的機械的性質	2-0-0	1Q
	材料系	MAT.C205	セラミックス概論	2-0-0	2Q
	材料系	MAT.C206	セラミックスプロセッシング	2-0-0	4Q
	材料系	MAT.M202	統計力学 (M)	2-0-0	3Q
	材料系	MAT.M308	金属電気化学	2-0-0	3Q
	材料系	MAT.P221	有機材料構造A	1-0-0	4Q
	材料系	MAT.P321	有機材料構造B	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.C201	移動現象第一 (運動量移動)	1-0-0	2Q
	応用化学系	CAP.C202	移動現象第二 (熱移動)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.C203	移動現象第三 (物質移動)	1-0-0	3Q
	応用化学系	CAP.C211	エネルギー操作	1-0-0	4Q
	応用化学系	CAP.C212	分離操作	1-0-0	4Q
	応用化学系	CAP.C311	粒子・流体操作	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.P321	高分子物理第三 (レオロジー)	1-0-0	1Q
	応用化学系	CAP.P322	高分子物理第四 (応用物性)	1-0-0	2Q
	応用化学系	CAP.P342	生体高分子	1-0-0	4Q
	応用化学系	CAP.P343	高分子工業化学	1-0-0	4Q
	生命理工学系	LST.A331	構造生物学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A344	動物生理学	2-0-0	2Q
	生命理工学系	LST.A346	基礎神経科学	2-0-0	1Q
	生命理工学系	LST.A352	細胞工学	2-0-0	2Q
	金属工学科	ZUF.M316	複合材料科学	1-0-0	休講

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[8] 国際テクニカルライティングコース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
②	英語科目	LAE.E131	英語スピーキング演習第一	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E132	英語スピーキング演習第二	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E133	英語スピーキング演習第三	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E134	英語スピーキング演習第四	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E151	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第一	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E152	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第二	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E153	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第三	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E154	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第四	0-1-0	4Q
①	英語科目	LAE.E155	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第一	0-1-0	1Q
①	英語科目	LAE.E156	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第二	0-1-0	2Q
①	英語科目	LAE.E157	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第三	0-1-0	3Q
①	英語科目	LAE.E158	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第四	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E231	英語スピーキング演習第五	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E232	英語スピーキング演習第六	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E233	英語スピーキング演習第七	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E234	英語スピーキング演習第八	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E251	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第五	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E252	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第六	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E253	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第七	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E254	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第八	0-1-0	4Q
①	英語科目	LAE.E255	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第五	0-1-0	1Q
①	英語科目	LAE.E256	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第六	0-1-0	2Q
①	英語科目	LAE.E257	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第七	0-1-0	3Q
①	英語科目	LAE.E258	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第八	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E341	アカデミックプレゼンテーション第九	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E342	アカデミックプレゼンテーション第十	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E343	アカデミックプレゼンテーション第十一	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E344	アカデミックプレゼンテーション第十二	0-1-0	4Q
②	英語科目	LAE.E351	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第九	0-1-0	1Q
②	英語科目	LAE.E352	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第十	0-1-0	2Q
②	英語科目	LAE.E353	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第十一	0-1-0	3Q
②	英語科目	LAE.E354	TOEFL対策セミナー (リスニング&スピーキング) 第十二	0-1-0	4Q
①	英語科目	LAE.E355	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第九	0-1-0	1Q
①	英語科目	LAE.E356	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第十	0-1-0	2Q
①	英語科目	LAE.E357	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第十一	0-1-0	3Q
①	英語科目	LAE.E358	TOEFL対策セミナー (リーディング&ライティング) 第十二	0-1-0	4Q
④	情報理工学院	XCO.B101	情報理工学基礎1	1-0-0	2Q
④	情報理工学院	XCO.B102	情報理工学基礎2	1-0-0	3Q
④	情報理工学院	XCO.B103	情報理工学基礎3	1-0-0	4Q
④	化学系	CHM.A201	安全の化学	1-0-0	1Q
④	機械系	MEC.I211	ロボット機構学	2-0-0	3Q
④	機械系	MEC.Q301	機械システムデザイン	0-0-2	2Q
④	システム制御系	SCE.P201	システム創造設計	0-1-1	2Q
④	システム制御系	SCE.S201	メカトロニクス設計概論	2-0-0	1Q
④	電気電子系	EEE.C361	線形制御理論	2-0-0	3Q
④	電気電子系	EEE.G291	エレクトロニクスの基礎	1-0-0	2Q
④	情報通信系	ICT.H212	オートマトンと言語 (情報通信)	2-1-0	3Q
④	情報通信系	ICT.M202	確率と統計 (情報通信)	2-1-0	1Q
④	経営工学系	IEE.D203	マーケティング	2-0-0	4Q
④	材料系	MAT.A201	電気学	2-0-0	2Q
④	材料系	MAT.A202	材料力学概論F	1-0-0	3Q
④	材料系	MAT.A206	材料の熱的機械的性質	2-0-0	1Q
④	応用化学系	CAP.C201	移動現象第一 (運動量移動)	1-0-0	2Q
④	応用化学系	CAP.C202	移動現象第二 (熱移動)	1-0-0	3Q

令和2年度 四大学連合複合領域コース 授業科目一覧(東京工業大学開設科目)

令和2年8月更新

[8] 国際テクニカルライティングコース

推奨等	科目所属/区分	科目コード	科目名	単位数	R2開講 クォーター
④	応用化学系	CAP.C203	移動現象第三 (物質移動)	1-0-0	3Q
④	応用化学系	CAP.C211	エネルギー操作	1-0-0	4Q
④	応用化学系	CAP.C212	分離操作	1-0-0	4Q
④	応用化学系	CAP.C311	粒子・流体操作	1-0-0	1Q
④	数理・計算科学系	MCS.T204	計算機科学概論	2-1-0	1Q
④	数理・計算科学系	MCS.T302	数理最適化	2-1-0	1Q
④	情報工学系	CSC.T241	計算基礎論	2-0-0	1Q
④	情報工学系	CSC.T242	確率論・統計学	2-0-0	1Q
④	情報工学系	CSC.T251	オートマトンと形式言語	2-0-0	2Q
④	生命理工学系	LST.A208	分子生物学第一	2-0-0	1Q
④	建築学系	ARC.A204	建築法規	1-0-0	3Q
④	建築学系	ARC.P305	国土・都市計画論	2-0-0	4Q
④	建築学系	ARC.S201	材料力学概論A	1-0-0	1Q
④	建築学系	ARC.S202	材料力学概論B	1-0-0	2Q
④	土木・環境工学系	CVE.D211	国土・都市計画概論	2-0-0	4Q
④	土木・環境工学系	CVE.D313	インフラストラクチャーの都市計画	2-0-0	4Q
④	融合理工学系	TSE.C301	国際開発共創概論	2-0-0	1Q
④	融合理工学系	TSE.C302	開発経済学入門	2-0-0	3Q
④	融合理工学系	TSE.C312	社会環境政策概論	2-0-0	3Q

(備考)

・科目区分について

①:テクニカルライティング

②:プレゼンテーション及び会議用英語

③:言語学, 言語教育学, 英語学(現在はこの区分に対応する科目は開講していない)

④:情報, 電気電子, 機械, 化学, 航空宇宙, 建設土木工学の各概論